# 令和 4 年度

# 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告書

令和4年度は、第2期矢巾町地域福祉活動計画に基づき、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる町」を目指して、行政や専門機関、地域住民や福祉団体、ボランティア等、地域に関わるすべての人々が協働してお互いに支え合う活動を強化し、矢巾町が目指す「やさしさと思いやりに満ちたまちづくり」に向けて活動を展開した。

特にも、生活支援コーディネーター(以下「SC」という。)1 層を専任で配置し、町内社会福祉法人に配置されている第 2 層 SC と共に情報収集と課題解決に努め、支援の必要な高齢者等の日常生活を地域で支え合う仕組みづくりを推進することができた。また、6 月には公式 LINE アカウントを開設し、社会福祉協議会からの情報発信や新たな相談ツール、ボランティア活動の推進など、大きな成果を得ることができた。

新型コロナウイルス感染症の影響など、様々な理由により支援を必要とする世帯に対しては、生活福祉資金やたすけあい金庫の貸付事業、生活困窮者自立支援事業(岩手県社会福祉協議会)との連携など、困窮者支援に取り組んだ。さらには、フードパントリー、フードドライブ&サニタリードライブ事業を実施し、地域住民の理解と協力のもと、一体となって暮らしを支える活動を展開した。

町内社会福祉法人が協働で公益的な取組みを行う「やはば生活支援ネットワーク事業推 進協議会」では、新たに1法人が加入し、町内の全ての社会福祉法人が、おつかいサービ ス、生活困窮者への生活支援、ふくしのお仕事体験事業など、組織的な活動を積極的に展 開した。

令和4年度も、町が実施する重層的支援体制整備事業の3つの柱である包括的相談支援事業、参加支援事業、地域づくり事業を共に展開し、行政や関係機関と綿密な連携を深め、社会福祉協議会の機能を発揮して住民のあらゆる困りごとに対応した。地域づくりにおいては、居場所や交流の場を求める住民のニーズがより明確化し、SCを中心とし、サロン活動やコミュニティ食堂、ボランティア活動など、ネットワークによる支え合う地域づくりを行った。

ふれあい広場については、コロナ禍にあることを考慮し、障がいのある方、高齢の方、 子育て世代の方、誰もが楽しむことができるよう、ステージ発表を中心とした内容で開催 し、誰もが地域における役割を担いながら、共に学び共に生きる地域づくりにむけて新た な活動を展開した。

# 1 法人の運営

# (1) 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	議題
第1回理事会 令和4年	理事12名 監事3名	令和3年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告の承認につい て
5月25日		令和3年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算の承認に ついて
		社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第1回評議員会の招集について
第2回理事会 令和4年	理事13名 監事3名	令和 4 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出補正予算第 1 号(案)について
12月14日	<u></u>	社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会育児・介護休業に関する規則の改 正について
		社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会就業規則の一部改正について社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会パートタイム労働者就業規則の一部が下げていて
		部改正について   社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会たすけあい金庫運営規程の一部改   正について
		社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第2回評議員会の招集について
第3回理事会 令和5年	理事12名 監事3名	令和 4 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出補正予算第 2 号(案)について
3月15日	血 <b>ず</b> 5 石	社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会役員賠償責任保険契約について 令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業計画(案)について
		令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出予算(案)に ついて
		社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第3回評議員会の招集について

# (2) 評議員会の開催状況

		<u> </u>
開催年月日	出席者数	議題
第1回評議員会	評議員	令和3年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告の承認につい
令和4年	19 名	て
6月15日	理事3名	令和3度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算の承認につ
	監事2名	いて
		社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会理事の選任について
第2回評議員会	評議員	令和 4 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出補正予算第 1
令和4年	19名	号(案)について
12月22日	理事3名	
	監事1名	
第3回評議員会	評議員	令和 4 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出補正予算第 2
令和5年	17 名	号(案)について
3月24日	理事3名	令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業計画(案)につい
	監事1名	て
		令和5年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出予算(案)に
		ついて

## (3) 監事会の開催状況

開催年月日	出席者数	議題
第1回監査会 令和4年 5月13日	監事3名	1 令和3年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告について ①社会福祉協議会 ②児童館 ③居宅介護支援事業所 ④生きがい対応型デイサービス ⑤こびりっこサロン事業 2 令和3年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会収入支出決算書類について 会計区分 ①社会福祉協議会事業 ②共同募金事業 ③たすけあい金庫事業 ④居宅介護事業 ⑤児童館事業 3 令和3年度寄付者の状況 4 令和3年度福祉基金積立金の状況 5 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会預金残高証明書(令和4年3月31日現在) 6 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会運営点検表
第2回監査会 令和4年 7月25日	監事3名	1 令和 4 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、賃借対照表、予算執行状況について ①社会福祉協議会事業 ②共同募金事業 ③たすけあい金庫事業 ④居宅介護事業 ⑤児童館事業
第3回監査会 令和4年 10月26日	監事3名	1 令和 4 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、貸借対照表、予算執行状況について ①社会福祉協議会事業 ②共同募金事業 ③たすけあい金庫事業 ④居宅介護事業 ⑤児童館事業
第4回監査会 令和5年 1月24日	監事3名	1 令和 4 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、月次決算書、貸借対照表、予算執行状況について ①社会福祉協議会事業 ②共同募金事業 ③たすけあい金庫事業 ④居宅介護事業 ⑤児童館事業

#### (4) 令和4年度財政援助団体等監査(令和3年度分)

期 日 令和4年11月9日

場 所 役場2階2-2会議室

出席者 代表監查委員 佐々木良隆

監査委員 長谷川和男

矢巾町監査委員事務局 2名

出席職員 事務局 佐藤由子

児童館長 及川裕規子

【監査対象】徳田児童館、煙山児童館、不動児童館 指定管理料

【監査内容】指定管理料対象事業に係る出納その他事務の執行に関すること

【監査結果】3施設とも適切に管理され、設置目的に沿って適正に運営されている。

#### (5)会長・副会長会議

開催年月日	議題
令和4年8月30日	社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会下半期事業について 社会福祉協議会会長表彰式について 子ども川柳選考について たすけあい金庫運営規程について

# (6)評議員選任・解任委員会の開催状況 開催なし

# (7)苦情解決への取組状況

①苦情解決委員会の開催

期 日 令和4年7月15日

場 所 役場2階2-4会議室

出席委員 星川範男委員 久慈妙子委員

出席職員 佐藤由子事務局長

#### 【苦情受付状況について】

令和3年7月~令和4年7月委員会開催まで

受付苦情件数 2件 (社会福祉協議会1件、児童館1件)

事故報告件数 8件 (社会福祉協議会1件、児童館7件)

# (8) 財源確保に関すること

①社会福祉協議会会費

#### 【世帯会員の納入結果】

令和4年5月~行政区長の協力を得て会員会費納入の運動を行った。

41 行政区、10,790 世帯(4 月 1 日現在) 6,241,000 円 (前年度 6,282,000 円)

パンフレット 全戸配布

#### 【法人替助会費の納入結果】

令和4年6月~賛助会員の募集と会費納入運動を行った。

町内外事業所 201 社(前年度 191 社)13 施設(前年度 13 施設)575,000 円

(前年度 579,000 円)

パンフレット配布 協力事業所名を「やはばのふくし」、社会福祉協議会ホームページに掲載

②令和4年10月全国一斉「赤い羽根共同募金」運動を展開 パンフレット「赤い羽根 News」全戸配布

【令和4年度赤い羽根共同募金運動】

目標額 5,000,000円

実 績 額 3,811,476円

矢巾町の目標達成率 76.2%

				募金額(円)	協力機関等
戸	別	募	金	3,089,000	各行政区
法	人	募	金	525,400	町内事業所
街	頭	募	金	0	
学	校	募	金	44,660	小中学校、高校、大学、支援学校
職	域	募	金	11,696	矢巾町役場等
イ	ベン	ト募	金	57,203	老人クラブゲートボール大会、マレッ トゴルフ協会、ふれあい広場
そ	の他	の募	金	83,517	町内募金箱、自販機等
合			計	3,811,476	

# ③令和4年度歳末たすけあい共同募金運動

目標額 2,500,000円

実 績 額 2,749,630円

矢巾町の目標達成率 109.9%

				募 金 額 (円)	協力機関等
戸	別	募	金	2,454,550	各行政区
職	域	募	金	13,000	町内事業所
イ	ベン	ト募	金	0	
団	体・個	人募	享 金	282,080	民生児童委員 OB 会、幼稚園父母会、 連合婦人会、ハートフルワーカーズ虹 の会
合			計	2,749,630	

# ④社会福祉協議会福祉基金

財政基盤を確立し、安定した財源の確保による地域福祉活動の展開をめざして、福祉基金の充実を図った。

# 【基金管理状况】

令和 4 年度新規積立金	1,637,083 円	寄付 15 件
令和4年度取崩金	26,000,000 円	
現在の福祉基金(R5.3.31)	49,956,485 円	

# (9) 役職員研修・委員会等の参加状況

年月日	研修・委員会名	参加人数
令和4年4月14日	県央地区社協連絡協議会総会	3名
令和4年6月3日	矢巾町地域公共交通会議	1名
令和4年6月21日	県央地区社協連絡協議会事務局長会議	1名
令和 4 年 6 月 24 日	県ボランティア団体連絡協議会総会	1名
令和4年6月28日	第1回矢巾町地域福祉推進審議会	5名
令和4年7月5日	市町村社会福祉協議会事務局長地域福祉 担当課長会議	1名
令和4年7月6日	岩手県生活支援コーディネーター養成研 修会	1名
令和4年7月15日	市町村ボランティア活動研究会	1名
令和 4 年 7 月 26 日	県央地区市町村域ネットワーク連絡会議 矢巾町地域公共交通会議	1名 1名
令和4年7月27日	重層的支援体制整備事業研修会	1名
令和4年8月3日	市町村社会福祉協議会会長懇談会	1名
令和4年8月4~5日	CSW養成研修会	1名
令和 4 年 8 月 27 日	災害ボランティアセンター設置・運営 に係る研修訓練	1名
令和 4 年 9 月 12~13 日	市町村社会福祉協議会中堅職員研修	1名

令和4年9月14日	岩手県生活支援体制向上支援研修会	2 名
令和 4 年 9 月 16 日	CSW養成研修会	1名
令和 4 年 9 月 29 日	県央地区社協職員研修会	2 名
令和4年10月4日	紫波地区保護司候補者検討協議会	1 名
令和 4 年 10 月 19 日	企業 DX (デジタルトランスフォーメーション) に関するリモート講演	1 名
令和 4 年 10 月 25 日	第1回青少年相談事例検討会	1 名
令和 4 年 10 月 26 日	生活支援コーディネーター現地研修	2名
令和 4 年 10 月 28 日	第 75 回岩手県社会福祉大会	8名
令和 4 年 10 月 31 日	県央地区社協連絡協議会理事会	2 名
令和4年11月9日	ギャンブル障害の精神保健福祉相 談・支援の実践研修	1名
令和4年11月10~11日	県央地区社協連絡協議会先進地研修	1名
令和 4 年 11 月 16 日	岩手県防災ボランティア支援ネット ワーク研修会	1名
令和 4 年 11 月 16 日	矢巾町地域公共交通会議	1名
令和 4 年 11 月 21 日	市町村共同募金委員会職員研修会	1名
令和 4 年 11 月 29 日	岩手県生活支援コーディネーター連絡会	1名
令和4年12月1日	盛岡広域地域連携ネットワーク連絡 協議会	1名
令和 4 年 12 月 5~6 日	市町村社会福祉協議会管理指導員研修	1名
令和 4 年 12 月 23 日	生活困窮者支援研究会	1名
令和5年1月11日	障がい者不利益取扱い相談窓口職員研修	1名
令和5年1月30日	矢巾町地域公共交通会議	1名
令和5年2月13日	市町村社会福祉協議会新任職員研修	1名

令和5年2月17日	第2回矢巾町地域福祉推進審議会	5名
令和5年2月24日	地域で育む福祉教育セミナー	2 名
令和5年3月3日	日常生活自立支援事業関係機関連絡会議	1名
令和5年3月14日	いわて "おげんきみまもりシステム" 研 修会・広報研修会	1名
令和5年3月17日	市町村社会福祉協議会部会総会	1名
令和5年3月23日	県央地区社協連絡協議会理事会	2 名

# ◎矢巾町新型コロナウイルス感染症対策本部会議

令和4年7月26日	第 27 回矢巾町新型コロナウイルス感染 症対策本部会議	1名
令和4年8月10日	第 28 回矢巾町新型コロナウイルス感染症対策本部会議	1名
令和 4 年 12 月 16 日	第 29 回矢巾町新型コロナウイルス感染 症対策本部会議	1名

# ◎矢巾町社会福祉協議会職員研修会(内部研修)

期日 令和4年11月11日

場 所 役場 2-2 会議室

内容 レジリエンスを高め元気に働き続けるために

~「逆境に負けない力」「働き意欲」を引き出す~ しなやかで折れない心の育て方

講 師 一般社団法人日本産業カウンセラー協会

シニア産業カウンセラー 藤村 七美 氏

参加者 22名(内リモート参加4名)

#### 2 地域福祉活動

住民の福祉ニーズを的確に把握するため、民生児童委員協議会定例会やケアマネ・サービス事業所合同連絡会等関係機関と連携し、福祉問題の把握に努め、身近な情報を発信した。また、町内社会福祉法人等が協働して地域における公益的な取組みを行う「やはば生活支援ネットワーク事業推進協議会」やボランティア、福祉団体など地域住民とのネットワークを強化し、住民だれもが地域の中で安心して暮らせるよう、地域福祉活動を推進した。

#### (1) 広報活動

①広報紙「やはばのふくし」の発行 年4回

第 144 号	令和4年4月1日発行
第 145 号	令和4年6月1日発行
第 146 号	令和4年10月1日発行
第 147 号	令和5年2月1日発行

- ②ホームページによる情報発信
- ③やはラヂ!による情報発信
- ④パンフレット【矢巾町社会福祉協議会(しゃきょう)の福祉のサービス(保存版)】全 戸配布
- ⑤矢巾町社会福祉協議会公式 LINE による情報発信

#### (2)地域福祉ネットワーク活動

①やはば生活支援ネットワーク事業

日常生活又は社会生活上の支援を必要とする方を支援するため、町内の 9 社会福祉法 人、1 医療法人が、地域における公益的な取組を協働で実施した。

#### 【ネットワーク会員】

社会福祉法人敬愛会、社会福祉法人新生会、社会福祉法人爽生会、社会福祉法人睦喜会、 社会福祉法人矢巾親和会、社会福祉法人土淵朗親会、社会福祉法人いちご会、社会福祉 法人吉祥会(令和4年度新規)、社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会 医療法人社団帰厚堂

#### 【内 容】

○日常生活支援(おつかいサービス)

町内の高齢者、障がい者等の日常生活必需品や食料品の買い物のための送迎サービスを実施した。令和4年8月、9月、11月、12月、令和5年1月は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とした。

年 16 回 利用登録者数 21 名(前年度比 2 名減) 利用者数 延べ 103 名(前年比 37 名減)

#### ○生活困窮者支援

日常生活上の課題や就労、経済的な課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方への生活支援事業を行なった。

- 支援件数 4件
- ・支援総額 101,318円 (光熱水費、転居費用、食料費、燃料費等)

# ○ゴミ出し支援

おつかいサービス利用者のゴミ出し支援については、令和4年度実績なし

# ○ふくしのお仕事体験事業

経済的に困窮している方、就職に不安がある方、適性がわからない方に、一般就労に 向けた「お仕事体験」の機会を提供した(令和5年3月~)。

- ・1 法人 対象者 1 名 延べ体験回数 3回
- ・主な作業内容 車庫の整理等
- ○フードパントリー(社会福祉協議会事業)への協力
  - 支援総額 30,000 円(内訳:食料品詰合せ 12 世帯分)
- ②住民参加による地域福祉活動

地域住民が互いに支え合う「日常生活たすけあい隊」、地域の居場所「こびりっこサロン」「えんじょいサロン」「コミュニティ食堂(ここかむ食堂)」の開催など、住民が主体的に活動できる環境づくりの支援を行い、住民と共に地域福祉活動に取り組んだ。また、住民に対する学習、地域福祉活動への参加促進等に関する取組みとして「こびりっこサロン代表者研修会」を開催した。

#### ア 日常生活たすけあい隊事業

【日常生活たすけあい隊総数 113 名】(前年度 116 名)

8単位老人クラブ 66名、傾聴ボランティア 14名

ふれあい弁当ボランティア 18 名、声の広報ボランティア 7名

おでかけ送迎サービスボランティア8名

【ありがっと賞交付数】89枚(前年度末66枚)

イ こびりっこサロン事業(やはばおたっしゃサロン事業) (P81~)

ウ コミュニティ食堂 (ここかむ食堂) の開催

新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策として会食はせず、お弁当の配布を行った。

開催日	昼ここかむ食堂(毎月第3日曜日) 年11回
	夜ここかむ食堂(毎月第2・第4金曜日)年24回
開催場所	新田自治公民館
延べ人数	母子寡婦福祉協会会員 215 名、親子 413 組、ボランティア 100 名

エ 児童館ここかむ食堂 徳田、不動、煙山児童館で1回ずつ開催した。

開催日/参加数	・徳田児童館	令和4年11月5日	児童7名
	・不動児童館	令和 4 年 12 月 3 日	親4名、児童8名
	・煙山児童館	令和5年3月4日	児童9名

オ 住民に対する学習、地域福祉活動へのきっかけづくりや参加促進等に関する取組み

日 付	内 容	場所
令和5年3月22日	わくわくワークス	徳田児童館

③地域生活課題を包括的に受け止めるための関係機関とのネットワーク強化

多様化する福祉ニーズを包括的に受けとめ、解決につなぐことができるよう、関係機関とのネットワークを強化した。

ア 矢巾町支援調整会議 年10回(書面開催2回)

- イ 重層的支援体制整備事業関係会議
  - · 矢巾町個別支援会議 年 13 回
  - ・矢巾町重層的支援体制整備事業推進会議 令和4年6月29日、令和5年2月8日

ウ 矢巾町生活支援協議会

令和4年8月25日、令和5年3月8日

エ 地域ケア推進会議

令和5年2月3日

オ ふくし連絡調整会議 年4回

#### (3) 令和4年度バリアフリー映画会

日本語字幕、音声ガイド、手話通訳、音量や会場内照明の調整、母子室利用等、視覚や聴覚に障がいを持つ方も不安なく楽しんで映画を鑑賞してもらえる映画会を開催し、障がいへの理解を深めた。令和 4 年度は昨年度上映して好評であった「星に語りて~Starry Sky~」の他、子ども向けの内容の映画も上映し、大人から子どもまで楽しめる映画会を開催した。

期 日 令和4年7月9日

場 所 田園ホール

内 容 午前の部「映画ドラえもん のび太の宝島」

午後の部「星に語りて~Starry Sky~」

参加者 約300名

#### (4) 第41回矢巾町ふれあい広場~はなしてつながる心と心~

ステージ発表を中心に、コロナ禍で減ってしまった社会参加や自己実現の場として誰もが安心して暮らせるやさしい町づくりを目指し開催した。併せて、同日に社会福祉協議会会長表彰を行った。

期日 令和4年10月1日

場所 田園ホール

内容

- 1 矢巾町社会福祉協議会会長表彰
  - ・長年にわたり地域での福祉活動やボランティア活動に功績のあった方 7名
  - ・社会福祉活動に多額の寄付や支援をされた団体 3団体
  - ・「こんなやさしい町が好き こども川柳」の入賞児童 9名
- 2 ステージ発表
  - ①マーチング「旧友」(社会福祉法人矢巾親和会ふどうこども園)
  - ②ヒップホップダンス(NPO 法人未来の扉)
  - ③矢巾音頭(矢巾町老人クラブ連合会女性部会)

- ④ きららパフォーマンス・福祉のど自慢
- ⑤矢巾町中学生平和学習派遣事業
- ⑥みんなで踊ろう「さんさ踊り」(さんさの館さんさ踊り集団遊佐会)

参加者 約400名

## 3 ボランティア活動関係

- (1) ボランティアの養成に関すること
  - ①ジュニアボランティア探検隊

町内の小学生が、社会福祉・ボランティア活動の重要性について体験を通じて理解を深めた。新型コロナウイルス感染症が拡大したことにより、一部中止とした回があったが、ふれあい広場での赤い羽根共同募金の活動等を通して、地域貢献の意義を身近なものとして学ぶことができた。

#### 第1回ジュニアボランティア探検隊

期日・場所	令和4年8月4日 やはパーク近隣
人 数	小学生(4~6年生)4名
内容	「"ふくし"ってなんだろう」 ・身近な福祉を学ぼう ・車いす体験 ・目の見えない人の道の歩き方を学ぶ 講師 村上 直人 氏

#### 第2回ジュニアボランティア探検隊 (新型コロナウィルス拡大防止のため中止)

期日・場所	令和4年8月10日 フォレストファーム (煙山)	
内 容	「障がい者施設で野菜収穫体験」	

#### 第3回ジュニアボランティア探検隊

期日	・場所	令和4年10月1日 田園ホール	
人	数	小学生(4~6年生)3名	
内	容	「第 41 回矢巾町ふれあい広場」 ・開会閉会宣言 ・赤い羽根共同募金活動(募金額 19,703 円)	

#### ②小学生福祉講座 キャップハンディ体験

日常生活で障がい者や高齢者のためのボランティア活動を身近に感じることができるよう、各小学校と協力し福祉講座を実施した。

期	日・場所	令和 4 年 9 月 8 日 煙山小学校 4 年生 令和 4 年 11 月 30 日 徳田小学校 4 年生	
内	容	視聴覚障がい者や車イス使用の方々に対する理解を深め、キャップハンディ体	
		験をした。	
		・白杖体験と視覚障がいについて	
		針灸師 村上 直人 氏	
		・車イス体験 社会福祉協議会	

## ③ボランティア入門講座

ボランティア活動に興味のある方、ボランティアを始めたい方向けに、ボランティアの基本的な内容を含んだ講座を開催し、地域に密着したボランティアの育成を図った。

期日・場所	【1日目】令和4年11月7日
	【2日目】令和4年11月8日
受 講 者	7名
内容	【1日目】 ・「ボランティアとは」 岩手県社会福祉協議会地域福祉企画部ボランティア市民活動センター 主査 菊池 伸哉 氏 ・「ボランティアの社会性~いろんな人が集まって生活する~」 ユニバーサルサービス (US) 倶楽部 代表 佐藤 裕弥 氏 【2日目】 ・(実践発表①)「子どもの居場所・ここかむ食堂の活動について」 矢巾町母子寡婦福祉協会 会長 高野 美恵子 氏 ・(実践発表②)「日常生活たすけあい隊の活動について」 北川翠生クラブたすけ隊 隊長 藤原 雅秋 氏 ・(ワークショップ) たすけあい体験ゲーム 矢巾町社会福祉協議会 主事 佐々木 崇臣

#### (2) ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する相談、登録、連絡調整、派遣を行った。ボランティア養成講座修了者を中心に地域での福祉活動、福祉施設へのボランティアを派遣する活動は、令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、受け入れ先の福祉施設や小中学校等との協議を行い、施設訪問については活動を休止した。そのような中、声の広報ボランティア、ふれあい弁当ボランティア、ここかむ食堂ボランティアは感染予防対策を徹底した上で活動を継続し、地域の在宅福祉を支えることができた。

#### ①ボランティア登録の状況

	団体	5 団体 (199 名)
ボランティア登録数	個人	4名
	合計	203 名

#### ②主なボランティア活動(社会福祉協議会関連)

#### ア 声の広報ボランティア

毎月1回、町広報紙等を朗読し、録音したテープ、CD を視覚障がい者等に配布した。新型コロナウイルス感染症対策のため、当番制による活動を行った。

利用登録数	3名	
朗読ボランティア (登録 7名)	12 回	延べ 44 名
配達ボランティア (登録 3 名)	12 回	延べ 36 名

# イ ふれあい弁当ボランティア

一人暮らし高齢者等に対し、手作りの弁当を配達した。

利用登録数		39名
調理ボランティア (登録 8 名)	23 回	延べ 153 名
配達ボランティア (登録 10 名)	23 回	延べ 179名

ウ ここかむ食堂(コミュニティ食堂)ボランティア 場所 新田自治公民館

昼ここかむ食堂	11 回	母子寡婦福祉協会ボランティア延べ 59 名 一般ボランティア延べ 36 名
夜ここかむ食堂	24 回	母子寡婦福祉協会ボランティア延べ 146 名 一般ボランティア 延べ 64 名

#### エ 施設訪問ボランティア

新型コロナ感染症の影響で、施設訪問によるボランティア活動はできなかったが、 矢巾町さくらの船の会は、社会福祉協議会の車いす清掃のボランティア活動や、町主 催のスポーツイベントの協力を行った。また傾聴ボランティアやはば「柚子の会」は 定例会において傾聴活動についての研修や事例研究などを行い、今後の活動へとつな げることができた。

#### オ おでかけ送迎サービスボランティア

高齢や障がいなどの理由で移動に車いすが必要な方を対象に、車いすごと乗れる車両を使用してボランティアによる送迎サービスを行った。

利用登録数	9名		
送迎ボランティア (登録 <b>9</b> 名)	34 回	延べ 34名	
利用人数	34 回	延べ 34名	

#### 4 高齢者福祉関係

町内における福祉活動やボランティアの充実により、町民誰もが公平に福祉サービスが受けられること、誰もが安心して暮らすことができる地域を創造すること、誰もが福祉の担い手となって住みよい地域が創り出されることを目標として、在宅福祉を支えるボランティアの育成と住民ネットワークの連携強化に取り組んだ。

#### (1) おげんき見守りシステム事業

一人暮らし高齢者等が一日 1 回指定の電話番号に電話をかけ、音声案内に従い本人の状況に応じた番号(元気 $\rightarrow$ 「1」、悪い $\rightarrow$ 「3」など)を押すことで、社会福祉協議会や登録した家族にメールで情報が伝わるシステム。本人からの発信がない日が続いた場合は、社協職員が電話や直接訪問を行い、安否を確認した。

#### 【利用者数】 5名

# (2) ハローライト利用支援事業

町内の一人暮らし高齢者等を対象に、通信機能を持った電球「ハローライト」を活用したヤマト運輸の見守りサービスの利用料を補助し、利用のきっかけづくりを行うとともに、利用者に異常があった際の通知を受け取り、本人の安否確認を行った。

#### 【利用者数】 7名

#### (3) ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業(ふれあい弁当)

一人暮らし高齢者や高齢者世帯、障がい者世帯に対し、ボランティアによる配食サービス事業に取り組んだ。

サービス利用登録者	39名
サービス提供回数	23 回
提供食数	755 食
調理ボランティア数	延べ 153名
配達ボランティア数	延べ 179名

#### (4) 生きいき教室事業

高齢者の社会参加意欲を高め、健康で生きがいのある生活を目指し事業を展開した。 感染症対策を徹底し、いきいきウォーキング、シニアヨガ体験会を開催した。

#### 【生きいき教室の実施状況】

対 象	60 歳以上の高齢者
事業内容	<ul> <li>・いきいきウォーキング</li> <li>期日令和4年7月1日 40名 場所 城内山 令和4年11月2日 34名 場所 城内山</li> <li>・シニアヨガ体験会</li> <li>期日令和5年3月1日 12名、3月8日 11名</li> <li>講師 矢巾町文化スポーツ課 主事 新田 真未 氏</li> </ul>

#### (5) 一人暮らし高齢者の集い(ゆり花の集い)

一人暮らし高齢者の生きがいを高め、バランスの取れた食事、仲間づくり、孤立化を防ぐことを目的として実施した。新型コロナウイルス感染症対策のため、令和 4 年度もボランティアによる昼食提供は行わず、業者による弁当を提供した。

開	催	口	数	年間 10 回
利	用	人	数	延べ 53 人
会			場	おでんせ広場
事	業	内	容	血圧測定、食事、ゲーム、ニュースポーツ、季節の行事、談 話等

#### (6) おつかいサービス事業 (再掲 P9)

一人暮らし高齢者等、買い物が困難な方の日常生活を支援するため、スーパーへ送迎するおつかいサービス事業を展開した。やはば生活支援ネットワーク事業推進協議会による実施で町内の9社会福祉法人、1医療法人がサービスの提供を行った。

#### (7) ねたきり高齢者等理容サービス事業

在宅でねたきりの高齢者の衛生と心の健康を図るとともに、介護者の負担を軽減するため、町内理容店の協力を得て、理容店の訪問による理容サービスを実施した。

# 【ねたきり高齢者等利用サービス事業実施状況】

対			象	在宅でねたきりの高齢者
協			力	町内理容店
利	F	Ħ	者	6名
利	用	口	数	延べ 13 回

#### (8) 高齢者健康づくり・生きがいづくり事業

高齢者の社会参加を応援し、健康づくり・生きがいづくりをめざして、老人クラブ連合会と協力し事業を展開した。

①夏の花いっぱい活動

期 日 令和4年6月26日

場 所 不動盛岡線沿線

参加者 73名

②いきいきウォーキング

期 日 令和4年7月1日 場所 城内山 40名

期 日 令和4年11月2日 場所 城内山 34名

③グラウンド・ゴルフ大会

期 日 令和4年10月5日

場 所 ラ・フランス温泉館

参加者 17名

④赤い羽根チャリティーゲートボール大会

期 日 令和4年9月27日

場所さわやかハウス

参加者 26 名

⑤ニュースポーツ体験会

期 日 令和4年10月19日

場所さわやかハウス

参加者 12名

(9) おでかけ送迎サービス事業 (再掲 P14)

高齢や障がいなどの理由で移動に車いすが必要な方を対象に、車いすごと乗れる車両 を使用してボランティアによる送迎サービスを行った。

#### (10) 令和4年度金婚式

永年にわたり地域社会の発展に尽くされ、また家庭の繁栄に努めてこられた結婚 50 周年をむかえたご夫婦 8 組に対して、お祝い膳や記念品、写真チケットをお贈りした(新型コロナウイルス感染症対策のため、祝賀会はなし)

# 5 障がい者(児)福祉活動関係

(1) 声の広報発行事業 (再掲 P13) ボランティアの協力を得て広報やはばを中心に毎月声の広報を発行した。 利用者 4名

(2) おでかけ送迎サービス事業 (再掲 P14)

高齢や障がいなどの理由で移動に車いすが必要な方を対象に、車いすごと乗れる車両を使用してボランティアによる送迎サービスを行った。

(3) 障がい者(児)社会参加推進事業

障がい者の社会参加を応援し、健康づくり・生きがいづくりをめざして、矢巾町身体障害者協議会と協力し事業を展開した。

- ①バリアフリー映画会への参加 6名
- ②第41回矢巾町ふれあい広場への参加 1名
- ③矢巾町主催パラスポーツイベントへの参加

期 日 令和4年9月17日

場 所 矢巾町民総合体育館

参加者 2名

④ニュースポーツ交流会

期 日 令和5年3月17日

場所さわやかハウス

内 容 ニュースポーツ交流会

参加者 6名

#### 6 児童・青少年福祉活動関係

(1) 福祉教育の推進

保育園、こども園、小・中学校、高等学校の協力を得て、社会福祉やボランティア活動への理解を深め、地域社会の連帯意識と奉仕の心を育成するため、社会福祉協力校(おもいやりの心育成事業)活動に取り組んだ。世代交流事業、ボランティア活動、募金活動など、幅広い世代とふれあう活動となった。「こんなやさしい町がすき『子ども川柳』」では、301名540句の川柳が寄せられ、入賞者は社会福祉協議会会長表彰式

にて表彰した。

◎おもいやりの心育成事業福祉協力校

保育園、こども園	8園
小学校	4 校
中学校	2 校
高等学校	1校

#### (2) ひとり親世帯を中心とした子育て世帯対象の事業

矢巾町母子寡婦福祉協会と協力し、ひとり親世帯等が孤立することがないよう活動 を展開した。

①親と子のつどい

期 日 令和5年1月8日

場 所 盛岡市子ども科学館

参加者 親子5世帯、母子寡婦福祉協会7名、ボランティア4名

②子どもの居場所「ここかむ食堂」(コミュニティ食堂) (再掲 P10)

矢巾町母子寡婦福祉協会が中心となり、地域の賛同者やボランティア、企業等の協力を得ながら、ひとり親世帯に限ることなく、地域の居場所として開催した。感染拡大防止のため、会食は自粛としたが、子育て世帯への弁当配布を継続し、コロナ禍においてもつながりを絶やさないよう活動を行った。

#### ③フードパントリー事業

様々な事情から、生活に困りごとのある子育て世帯を対象とし、無料で食料品やサニタリー用品、日用品を配布した。

期 日 令和 4 年 7 月 24 日 場所 矢巾町公民館 12 世帯 令和 4 年 12 月 17 日 場所 矢巾町公民館 19 世帯 令和 5 年 3 月 26 日 場所 矢巾町公民館 19 世帯

④ひとり親家庭等サポートネットワーク会議(盛岡地域)

期 日 令和 4 年 12 月 22 日 ZOOM 開催

#### (3) 更生保護活動

犯罪をなくし、明るく住みよい社会をつくるため、矢巾町保護司会、矢巾町更生保護女性の会等と協力し活動を展開した。新型コロナウイルス感染症の影響により、矯正施設の行事参加等はできなかったが、朝のあいさつ運動や学校訪問の実施により、学校との連携を図ることができた。矢巾町更生保護女性の会は、会員が育てた野菜等を持ち寄り販売するエキナカ産直を開催した。売上金の一部は、様々な事情から生活に困りごとのある子育て世帯への食料寄付等に活用し、地域の子どもたちの健やかな成長と明るい未来を支える活動を展開した。

①第72回社会を明るくする運動

期 日 令和4年6月23日 JR 矢幅駅

参加者 保護司3名 矢巾町更生保護女性の会7名 内 容 駅ホームに啓発短冊付風鈴の飾りつけ、ティッシュの配布

②朝のあいさつ運動

令和4年7月1日 不来方高校他

令和 4 年 7 月 15 日、8 月 26 日、9 月 22 日 矢巾中学校、矢巾北中学校

③学校訪問

令和 4 年 6 月 27 日、6 月 29 日、7 月 4 日

④少年非行防止等パトロール (矢巾っこすくすくネットワーク) 令和4年12月20日、令和5年1月10日、1月11日、1月16日、3月15日 3月16日

# (4) 地域子育て支援拠点事業 (町受託事業)

乳幼児の健全な育成と共に、安心して子育てができる環境を整備するため、子育て 支援拠点事業「うさちゃんのへや」を運営した。

子育て支援拠点事業「うさちゃんのへや」

事業目的	乳幼児と親の居場所、仲間作り支援	
開催場所	不動児童館	
開所時間	火、木、金曜日9:30~12:30	
開所日数	年間 145 日	
利用状況	年間大人 254 名、子ども 265 名	
事業内容	<ul><li>・運動遊び、リズム遊び、創作遊び、親子 ふれあい遊び、季節の行事 等</li><li>・子育て等に関する相談件数 28 件</li></ul>	

#### 7 相談・援護活動関係

住民の抱える生活課題は、複雑化・複合化していることから、各種分野とのネットワークにより、自立した生活を送ることができるよう支援を行った。またひきこもり等社会的に孤立している人が社会とのつながりを持つことができるよう、居場所づくりや支援メニューへのコーディネートを行った。

矢巾町が実施する矢巾町重層的支援体制整備事業の3つの柱である包括的相談支援事業、 参加支援事業、地域づくり事業を共に展開し、社会福祉協議会の機能を十分に発揮して 住 民のあらゆる困り事に対応した。

#### (1) 重層的支援体制整備事業に係る社協の取組み

#### ①包括的相談支援事業

多機関と連携し、様々な理由で生活に困り事のある方の相談、必要な支援を行なった。

## 【生活困窮に関すること】

#### 岩手県社会福祉協議会との連携

- ・いわて県央生活支援相談室 生活困窮者自立支援法に基づき設置された暮らしの相談窓口 令和4年度新規相談 40件 プラン(新規、再プラン)15件 支援調整会議 10回
- · 生活福祉資金貸付事業

他の貸付制度を利用できない低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯へ、資金の貸付と必要な相談事業を行なった。また、新型コロナウイルス感染症の影響により休業や減収、失業した世帯を対象として特例貸付を行った。特例貸付制度は、令和5年1月から順次、償還が開始されているが、様々な事情から償還が困難な世帯や住民税非課税世帯等には、猶予や免除の申請を案内する等、継続的な相談支援を行っている。

貸付相談員 1名配置

相談件数 延べ 207件

(内、新規借入に関する相談延べ90件 貸付中のケースに関する相談延べ117件)

# 【令和4年度貸付け状況】

資金の種類	件数	決定金額	備考
総合支援資金	0 件	0円	
福祉資金 福祉費	0件	0円	
福祉資金 緊急小口資金	4 件	280,000 円	車検代、初任給つなぎ 生活保護つなぎ
教育支援資金 教育支援費	1件	192,000 円	授業料(専門学校)
教育支援資金 就学支度費	1件	500,000 円	入学金等
コロナウイルス感染症に係る特 例貸付 (緊急小口資金)	11 件	2,150,000 円	
コロナウイルス感染症に係る特 例貸付(総合支援資金)	5件	2,150,000 円	
合 計	22 件	5,272,000 円	

#### たすけあい金庫貸付事業

緊急かつ一時的に生命維持が困難な状況にある方に対し、必要な貸付を行い、生活維持と安定を図った。また長期間にわたり償還が滞っている方へ督促を行った。

#### 【たすけあい金庫令和4年度の状況】

貸付け件数	5件	160,000 円
-------	----	-----------

償還件数	27 件	230,000 円
【貸付け残額】(令和5	年3月31日	現在)
貸付け総件数と残額	26 件	1,169,910 円

#### フードドライブ&サニタリードライブ事業

「特定非営利活動法人フードバンク岩手」と連携し、町民から寄付の協力をいただき、フードドライブに取り組んだ。同時に、様々な事情でサニタリー用品(生理用品など)の購入が難しい方々へ無料で配布するサニタリードライブに取り組んだ。

食料品は、フードバンク岩手を通じて県内の必要とされる世帯へ届けられ、サニタリー用品については、延べ45名に提供することができた。

#### フードパントリー事業

様々な事情から、生活に困りごとのある子育て世帯に対し、無料で食料を配布した。 提供する食料は、町内の個人や団体からの寄付により実施した。当日の配布については、 矢巾町更生保護女性の会、矢巾町母子寡婦福祉協会が協力した。

期 日 令和 4 年 7 月 24 日 場所 矢巾町公民館 12 世帯 令和 4 年 12 月 17 日 場所 矢巾町公民館 19 世帯 令和 5 年 3 月 26 日 場所 矢巾町公民館 19 世帯

# 生活困窮者への生活支援(やはば生活支援ネットワーク事業)(再掲 P9)

日常生活上の課題や就労、経済的な課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方への生活支援事業を行った。※水光熱費、転居費用、食料費、燃料費等

#### 【相談体制に関すること】

#### 暮らしの専門相談所の運営

人権擁護委員、弁護士、行政相談委員、司法書士、消費生活アドバイザー、民生委員など、住民の相談内容に応じて専門性を生かした相談事業を行った。

相談種別	開催日	開催時間	相談員	年間相談件 数
人権相談	第1金曜日	13:00~16:00	人権擁護委員	3
法律相談	第2金曜日	10:00~15:00	弁護士	63
行政相談	第3金曜日	9:00~12:00	行政相談委員	3
登記・相続	6/21、10/18、 2/21	13:00~16:00	司法書士	4
心配ごと	年4回	13:00~16:00	民生委員	0

#### 社会福祉協議会公式 LINE アカウントによる個別支援

社会福祉協議会を身近に感じてもらい、アクセスしやすい窓口となることを目的として 公式 LINE アカウントを開設し、各種情報発信を行うと共に、個別相談等に対応した。

公式 LINE 登録者数 177 名 (令和 4 年度 3 月末時点)

相談内容	人数/件数
生活相談	12 名/28 件
事業の申込に係ること	22 名/22 件
ボランティア希望	5名/5件
その他	4件

#### ②参加支援事業

ひきこもり等の「狭間のニーズ」を抱えた方の居場所づくりやニーズへのマッチングを 行った。

- ・フリースペース従事 コミュニティソーシャルワーカー 3名 年24回
- ・就活スペース in 矢巾(主催:もりおかユースポート) 期日 令和5年3月1日 コミュニティソーシャルワーカー2名
- ・ふくしのお仕事体験事業(再掲 P9)

対象者 1名

受入団体 社会福祉法人敬爱会

延べ体験回数 3回

主な作業内容 車庫の整備等

#### ③地域づくり事業

住民相互のふれあいや社会参加を通じて、支え合う地域づくりに取り組んだ。

- ・こびりっこサロン事業 (P81~)
- ・地域子育て支援拠点事業うさちゃんのへや(児童館型) (再掲 P19)
- ・日常生活たすけあい隊事業(前出P10)
- ・コミュニティ食堂(ここかむ食堂)(再掲P10)

#### (2)権利擁護制度による生活支援

#### ①日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが、自立した社会生活を送ることができるよう福祉サービス利用の援助を行うことにより、その権利擁護に資することを目的として、岩手県社会福祉協議会が実施主体となり、基幹社協である盛岡市社会福祉協議会と協力して事業を行った。事業の具体的なサービスにあたり、2 名の支援員を配置して支援を行った。また広報誌「やはばのふくし」にて、普及啓発に努めた。

• 利用者 4名

## ②成年後見制度の利用促進に関すること

盛岡広域地域連携ネットワーク連絡協議会、矢巾町成年後見人制度促進審議会関係機関 との連携により制度の利用促進について情報共有に努めた。

また、成年後見制度の普及啓発として出張相談会を年2回開催した。

期日 令和 4 年 7 月 22 日 (金) 件数: 3 件 令和 5 年 1 月 27 日 (金) 件数: 6 件

#### (3) 地域歳末たすけあい運動(たんぽぽ募金)による生活支援

町民の皆様から寄せられた善意の募金を、民生児童委員の協力のもと、支援を必要とする方々に届け、安心して新しい年を迎えることができるよう支援を行った。

①高齢者世帯	65 世帯	390,000 円
②障がい者世帯	102 世帯	612,000 円
③ひとり親世帯	71 世帯	726,000 円
④生活困窮世帯	4 世帯	60,000 円
⑤その他	6 世帯	36,000 円
⑥歳末福祉事業	2 団体	20,000 円

250 件 1,844,000 円